



## 第43回体育祭

応援団テーマ 爛舞



僕は中学・高校を通して三度応援団に参加しました。協調性・積極性のあるメンバーとともに大きな問題にぶつかることなく楽しく活動することができました。体育祭当日も、悔し涙ではなく達成感による涙を見ることができました。また後輩が「ありがとうございました。」など多くの言葉をかけてくれ、応援団をして本当によかったと思いました。応援団を支えてくださった先生方、最後までついてきてくれた応援団のみんな、本当にありがとうございました。  
紅組応援団長 藏野 利哉(Ⅲ年3組)

晴天に恵まれた5月26日(土)、第43回体育祭が開催されました。今年は、クラスごとで分かれていた紅白ではなく、4月から9月生まれば紅組、10月から3月生まれば白組というように、誕生月で分ける紅白対抗というスタイルをとりました。これによって、毎年同じチームで紅白を競い合うことになり、応援団を中心として紅白の団結力を高めることができます。今年の応援団はその初代ということで、例年に増して素晴らしい

応援合戦、応援団演技を披露してくれました。一方、学年ごとでのMVC(最優秀クラス)の表彰は例年通り行われ、各クラスがMVC獲得を目指して、中学生は大縄跳び、最後の体育祭となる高校Ⅲ年生は10人11脚を何日も前から練習を競って行い、その成果を充分に発揮していました。昨年度大雨で午前中で中止になってしまったこともあり、今年は例年になく大いに盛り上がり、素晴らしい体育祭となりました。

その日は、忙しかった日々を飾るであろう出来事への期待や、演舞の前の心地良い緊張感、更には全てが終わった瞬間の達成感でいっぱいでした。私は今まで、こんなにも充実した体育祭を経験したことがありませんでした。みんなの力なしにはきっとここまで素晴らしいものにはならなかったと思います。支えてくれた全メンバーや先生方、親へのありがとうは今もまだ、伝え足りません。  
白組応援団長 仁野 由貴(Ⅲ年5組)

### CONTENTS

- 第43回体育祭 ————— 1
- 中2ニュージーランド交換留学 ——— 2
- 芸術鑑賞 ————— 3
- 中1・高I 新入生オリエンテーション — 4
- 遠足 ————— 4
- 楽校講座 ————— 4
- 人間科授業～パキスタンとの交流～ — 5
- 夏休みの勉強法 ————— 5
- 表彰 ————— 6
- 高校生徒会新役員 ————— 6
- CLUB NEWS ————— 6



## 中2ニュージーランド交換留学

今年も5月12日(土)～24日(木)まで、ニュージーランドのパサデナ中学校から15名の留学生が来校しました。多くの生徒達が共に授業をうけ、様々な体験を共有する中で交流を深めることが出来ました。

歓迎会では、生徒達がお手玉、独楽、けん玉を披露しました。歓迎会の日からパサデナ生もお手玉を練習し、歓送会では本校の生徒と一緒に披露することが出来ました。パサデナ生にお手玉、あやとりといった日本文化を教えながら、生徒達は外国の友人に日本文化を伝える喜びを知ったようです。歓送会では、パサデナ生と生徒達が一緒に完成させたクラス旗とクラス飾りが飾られました。

また、本校の生徒達に交じって、白岩校長先生が飛び入りでボールリフティングを披露されました。歓声と賑やかな歌声の響く心温まる会となりました。生徒達はパサデナ生との交流を通して、大切なのは伝えたいという気持ちだと学びました。

パサデナ生は留学中に宮島、平和公園、マツダの工場を見学し、本校では華道や書道を体験しました。授業にも積極的に参加し、生徒達と互いに良い影響を与え合うことが出来たようです。

7月には本校の交換留学生15名がニュージーランドに向かいます。生徒達は大きな期待を持ち、新たな体験を待ち望んでいます。



- 1 「冷やし手抜きうどん」を作りました!
- 2 パサデナ生に熱心に質問していました。
- 3 大縄も一緒に練習しました!
- 4 宮島見学では高校生のガイドに聞き入っていました。
- 5 歓送会はパサデナ生と一緒に作り上げた会となりました。



私は今回のホームステイの受け入れで英語の楽しさや言葉が伝わる喜びを学びました。Josieちゃんが来るまでは、外国の人と話すのは伝わるかどうか分からないので苦手だなと思っていましたが、今はジェスチャーや伝えたいと思う気持ちがあれば伝わるのだと思います。

(2年2組 岡田 櫻子)

うどんを試食するとき箸が上手く扱えないJarrod君に使いかたを教えてあげたのですが、今思えばあの時僕は異国の人に自分の文化を教えていたのだと気づきました。Jarrod君は箸を使えるようになり、自分の文化が異文化の人に伝わったことが嬉しくたまりませんでした。

(2年3組 増喜 直人)

パサデナ生は挨拶も積極的でした。朝会った時や帰りに別れるときに毎日してくれました。知らない人に対してもとても気軽に挨拶してくれるので、とても親しみやすかったです。積極的に物事に取り組む姿はとても素晴らしいと思います。

(2年4組 三崎 心)

日本とNZの文化交流の中でNZのすばらしい文化をたくさん知りました。また、日本の素晴らしい文化も実感することができました。交換留学で私が期待していた「日本人としての誇りを持つ」ということが少し達成出来ました。NZへ行く前にしっかり準備をして、この交換留学をより良いものにしたいです。

(2年1組 中村 実咲)

パサデナの留学生は授業中に積極的に手を挙げて発言していた。それを見て、僕はすごいなと感心して、僕がどれだけ積極的に発言していないかがよく分かった。17日、18日にパサデナの留学生が平和公園と宮島に行っている時、なんとなく寂しかった。おそらく僕はクラスの一員としてパサデナの留学生を見ていたから、寂しかったのだらうと思う。

(2年4組 長谷川 貴大)

『近くて遠い国日本の民俗楽器による演奏会』

6月23日(土)、佐伯区民文化センターホールにて、さまざまな和楽器演奏者によって構成される日本音楽集団による演奏会を鑑賞しました。演奏会では、「ボレロ」「白鳥」「剣の舞」など生徒たちも一度は耳にしたことがあるような曲から、「鹿の遠音」「八千代獅子」「平家物語」といった日本の伝統的な曲、さらには現代音楽まで、時代やジャンルにとらわれない幅広い曲目が演奏されました。

また、団員の方による琵琶・三味線といった和楽器の構造・特徴の詳しい紹介や生徒たちによる小鼓体験のワークショップも行われました。小鼓体験のた

め舞台上上がった生徒たちは団員の方の丁寧な指導のもと苦労しながらも一生懸命演奏していました。生徒達にとって、この体験は貴重なものとなったことでしょう。

普段、和楽器になじみのない生徒達にとって、今回の演奏会は和楽器のすばらしさや可能性を感じる良い機会となったようです。



特に印象に残った楽器は琵琶でした。その理由は、いろいろな音が出せるからです。おだやかな音をだすこともできれば、空気がはりつめたような音を出すこともできるところが気に入りました。私も琵琶を弾いてみたいくなりました。  
(1年4組 小島 遙)

日本の楽器なのに見たことのない楽器がたくさんあり、「近くて遠い国日本」の意味がよくわかりました。一つの楽器で何通りの弾き方や音があることに驚きました。この芸術鑑賞で日本の民俗楽器を見たり聴いたりして、とても貴重な体験ができました。この経験を普段の生活でも活かしていければと思いました。  
(2年3組 山村 美貴)



日本にもこのようにすばらしい楽器があるのだと感動しました。そして、和楽器で日本の曲に限らず世界の様々な曲を演奏されたので驚きました。「和楽器を使った音楽は現代音楽にも発展しなければならない」という言葉も頭に残っています。保存されるだけでなく、そこから広がっていくという考え方はこれからの日本にとって大切なことでありすばらしいと思いました。  
(3年4組 竹川 響弥)

私は琵琶の音色がとても気に入りました。実際に見る機会もあまりなかったので、とても貴重な経験となりました。また、その琵琶で演奏された「平家物語」がとても良かったです。那須与一が扇に矢を射る姿や琵琶法師が語っている姿が思い浮かびました。  
(3年5組 神田 裕子)

日本人と欧米人の虫の声についてのお話が印象的でした。「ああ、おもしろい虫の声」とあるように日本人は虫の鳴き声を「声」としてとらえ、欧米人は「音」としてとらえるということでした。もしかしたら、日本人は蛍のような「声」は出さずにほのかに「光」る生き物にも虫の「声」を見出すのではないかと思うと、やさしい気持ちになりました。  
(1年1組 平森 千尋)

日本の民俗楽器はとても独特であると思いました。鹿の鳴き声や水滴が落ちる音を表現しようと考えた昔の人の感性に驚きました。また、民俗楽器の出す音は不思議だと思いました。「これは何のためにあるのだろう」と疑問に感じるような音を出すものもあり、奥深くて難しいと思いました。不思議な音を出す和楽器による演奏は、何か新しい曲を聴いているような感覚を覚えました。  
(2年1組 山廣 隆之)



現代文の授業で「雅楽のバイブレーション」という評論を習ったばかりだったので、文中の「雅楽では雅楽器の不安定さを含めてそれを完成とみなした」という表現を思い出し、まさにその通りであると感じました。また、それまでは深く聴いたことがなかったのであまり発達していない楽器だと思っていましたが、生命力や人間味を感じました。  
(2年3組 榎木 舞)

古典から現代音楽まで日本の雅楽の様々な側面を大まかであるが、とても分かりやすく楽しく聴くことができました。日本の伝統音楽もクラシックやジャズと同じようにたくさんの聴き所があり興味深く思いました。また、現代的に改良された箏が西洋の弦楽器と同じように立派に機能していることに驚きました。  
(3年4組 谷 陽太郎)

## 中1 新入生オリエンテーション

本校に入学して初めての行事となる新入生オリエンテーションが、4月10日(火)～12日(木)、もみのき森林公園にて行われました。このオリエンテーションのテーマは、本校で6年間生活するために必要なことを「知る」ことでした。本校で生活するために必要な心得を校長先生と教頭先生のお話から、登下校の注意点を安全講習から知りました。また、中学校での国語、数学、英語の学習内容や学習方法を知りました。初めての経験となる人間の授業のガイダンス

では実際に活動し、より一層本校での学校生活が楽しみになったと思います。そして何といてもオリエンティングやドッジボール大会では、クラスの仲間との親睦を深めることができました。今ではこの3日間のオリエンテーションで学んだことを活かしながら学校行事、学習に取り組んでいます。今後もこのオリエンテーションで学んだことや緊張感を大切にし、充実した中学校生活を送ってくれることを願っています。

初めに、校長先生のお話があったとき私は「自立」と「自律」ということが一番大切だと思いました。小学生までは、先生がすべて指示を出してくれていて、自分で行動したりすることはありませんでした。しかし、中学生になると自分で考え、行動しなくてはなりません。このオリゼミの中で初めは5分や10分くらい遅れて行ったりしていたけれど、だんだん自分で時計を見て5分前くらいには集合できるようになりました。小学生のときには出来なかったことが、中学生になって出来るようになり一歩成長したように感じました。(1年4組 西村 早織)



思いの詰まった校歌の練習



自然にみんなで協力できたオリエンティング

## 高I 新入生オリエンテーション

高校I年生対象の新入生オリエンテーションが、満開の桜の中、4月10日(火)～12日(木)の日程で、国立山口徳地青少年自然の家で実施されました。「広島高校へようこそ」「これが広島高校だ」「広島高校の生徒として」「これから何をすべきか」などのプログラムや、マツダ株式会社より福馬勉氏をお迎えしての講演「夢をもって最後までやりきることが大切」に対して、

生徒達は熱心にメモを取りながら聞き入っていました。また、ワークショップ「まずはコミュニケーションから」や野外炊事では、生徒間の積極的な交流が見られ、多くの新しい交友関係が生まれていました。このオリエンテーションでの学びと体験を通して、実り多い高校生活へのスタートが切れることを願っています。

「夢を叶えるために」 広島高校には、夢を広げ可能性を見つけ出すための様々なプログラムがあることを改めて知りました。そしてここで夢を見つけ、そのために積極的にプログラムに参加していきたいと強く思うようになりました。また、同じクラスの人と話す機会がたくさんあり、オリエンテーション前より友達の輪が広がったように思います。(I年1組 林里香)



福馬氏から、実物のロータリーエンジンを見せていただきました。



慣れない手つきで薪を割っています。(野外炊事の様子)

## 遠足

今年度は天候に恵まれ、それぞれの学年に合った遠足が4月12日(木)に行われました。中でも高Ⅲは、各グループに分かれて尾道市内を散策しながら、「これぞ尾道情緒」といえる写真を撮影し、帰校後にコンテストを行いました。生徒はみな満開の桜にうっとりしながら、タイムスリップしたような気持ちで室町時代からの寺院や昭和30年代までにつくられた町並みを満喫し、ちょっとした小旅行気分を味わいました。高校最後の遠足としていい思い出になったようです。

- 中2 ▶ みよし風土記の丘
- 中3 ▶ 宮島 弥山
- 高Ⅱ ▶ しまね海洋館アクアス
- 高Ⅲ ▶ 尾道市内



高Ⅲ写真コンテスト  
最優秀賞「桜の小道」

## 楽校講座

八千代校舎では学園生徒の保護者を対象とした楽校講座を開催しています。5月25日(金)に12名の保護者が参加して自ビール造りと本格的な薪窯によるピザ作りに挑戦されました。何れも一度味を占めるとまた行きたくなる美味しさです。機会があったら是非参加してみても如何でしょうか。(申し込みFAX0826-52-4757)

### 参加者の声

八千代校舎での講座は『大人の遠足』のような一日でした。

八千代校舎の美味しい水で作るからこそ美味しくなると言われる自ビールは、ちょっとした失敗をすることで「大人のビール」に仕上がりが、家族の記念日などに開栓して楽しんでいます。また、自然の中でいただく焼き立ての手作りピザは、どんな有名レストランの料理にも負けない美味しさでした。

一度行くとまた二度三度と行きたくなる、「ロハス」な空間だと言えます。



楽校講座マスターを頂きました。



鶴学園読書感想文コンクール



鶴学園創立50周年記念事業の一環として「読書感想文コンクール」が実施されました。この感想文コンクールは『鶴学園の「生い立ちと教育精神」』を読んだ感想文を募集したものです。多数の応募がありましたが、本校からは7名の生徒の感想文が入賞作品として選考され、佐藤広宙君(高I-5)は最優秀賞として選ばれました。

入賞者リスト

最優秀賞
佐藤 広宙 (I-5)
特選(高校生の部)
大塚 桃子 (II-3)
特選(中学生の部)
倉光 浄 (2-1)
入選(高校生の部)
原田 礼花 (II-4)
入選(中学生の部)
岩田 皆子 (2-2)
長谷 純一 (I-5)
平田 悠樹 (3-1)

中学校を卒業し高等学校に進学する節目に一冊の本と出会いました。この本との出会いは、私のこれまでの生き方を反省させ、今後はこうありたいと願う理想への決意を表明させるきっかけとなりました。

教育に全生涯をかけ、信念を持って生き抜いた先人達の生き様に惹かれ、少しでも近づきたいと思いました。その為にも先人達の結晶であるこの学園で高校生活が送れることへの感謝の気持ちを忘れずに、様々なことに前向きに取り組んでいきたいと思えます。(高校I年5組 佐藤広宙)



愛鳥週間ポスター

中学3年生の授業で、愛鳥週間のポスターを描く授業を行っています。毎年、数作品が入賞していますが、本年度は岩見智子さん(高I-5)の作品が特選として選ばれました。



愛鳥週間のポスターが選ばれたのを知ったとき信じられませんでした。美術の授業の課題だったのであまり時間がない中で仕上げたからです。

しかし、一生懸命描いたポスターが選ばれたことはとてもうれしいです。このポスターに描いたメジロと子供には、人間と鳥が共に成長し、また共存してほしいという思いが込められています。このポスターを通じてそのような思いが多くの人に伝わればと思います。(高校I年5組 岩見智子)



高校生徒会新役員

高校生徒会の執行部役員が決定しました。今年度の文化祭は現在の校舎で行われる最後の文化祭です。思い出に残るすばらしい文化祭にしようと、新役員の間意気込みも十分です。

会長	関内 照彦 (II-5)
副会長	沖増 朋樹 (I-4)
書記	岩見 智子 (I-5) 池田 智志 (II-4)
会計	馬谷 旭 (I-4) 村中 直樹 (I-3)
会計監査	弓削 茉莉子 (I-3) 杉田 駿 (II-1)
風紀委員長	高山 真一 (I-4)
文化部長	木原 春香 (I-5)
運動部長	新谷 亮磨 (I-4)
美化委員長	東堂 賢治 (I-5)

CLUB NEWS

高校硬式テニス部

●第60回広島県高等学校総合体育大会テニス競技広島地区予選  
日時:平成19年4月14日(土)・15日(日)  
成績:男子ダブルス  
内田 和宏(III-3)・橋國 桂太(III-3)  
※県総体出場  
女子シングルス  
中原 実紀(III-3) ※県総体出場

高校バドミントン部

●平成19年度広島県高校総体広島地区予選会  
日時:平成19年4月21日(土)・22日(日)  
成績:男子ダブルス  
日高 勇気(III-3)・吉田 充宏(III-2)  
※県大会出場  
男子シングルス  
佐々部 悟(III-4) ※県大会出場

●第60回広島県高等学校総合体育大会バドミントン競技(男子団体戦)  
日時:平成19年6月2日(土)・3日(日)  
成績:第5位

高校ソフトテニス部

●平成19年度全国・中国・広島県高等学校総合体育大会ソフトテニス部広島地区予選  
日時:平成19年4月28日(土)・29日(日)  
成績:個人戦 吉田 将宏(I-5)・河野 文彰(II-2)  
※県大会出場  
中藪 充(I-4)・松下 耕介(I-3)  
※県大会出場

高校水泳部

●平成19年度高等学校選手権水泳競技大会広島地区予選会  
日時:平成19年6月9日(土)・10日(日)  
成績:男子総合第4位(54点)  
男子400mメドレーリレー 第2位  
細末 修平(III-5)・白石 遊(I-4)・原 剛輝(I-5)・久留 琢丸(I-5)

男子400mフリーリレー 第3位  
細末 修平・白石 遊・原 剛輝・久留 琢丸  
男子800mフリーリレー 第3位  
細末 修平・白石 遊・原 剛輝・久留 琢丸  
男子200mバタフライ 第7位  
脇 拓大(III-4)  
男子100m背泳ぎ 第8位 細末 修平  
男子200m背泳ぎ 第6位 細末 修平  
男子200m平泳ぎ 第8位 白石 遊  
男子50m自由形 第2位 久留 琢丸  
男子100m自由形 第2位 久留 琢丸  
男子50m自由形 第4位 原 剛輝  
男子100m背泳ぎ 第5位 原 剛輝

中学女子バスケット部

●平成19年度広島市中学校バスケットボール選手権大会佐伯区大会  
日時:平成19年4月22日(日)・29日(日)  
成績:第3位

中学サッカー部

●平成19年度広島市中学校サッカー選手権大会佐伯区大会  
日時:平成19年4月28日(土)~30日(月)  
成績:第1位 ※広島市大会に進出

中学ソフトテニス部

●平成19年度広島市中学校ソフトテニス選手権大会佐伯区大会  
日時:平成19年4月28日(土)・29日(日)  
成績:団体戦 第3位 ※広島市大会に進出  
個人戦 慶徳 真明(3-4)・寺地 佑記(3-3)  
ベスト8

中学テニス同好会

●第34回全国中学生テニス選手権大会広島県予選大会  
日時:平成19年5月4日(金)・5日(土)・6日(日)  
成績:男子シングルス個人戦  
田鍋 光平(3-1) 準優勝 ※中国大会出場

●平成19年度広島市中学校テニス選手権大会  
日時:平成19年6月2日(土)・3日(日)  
成績:男子シングルス個人戦  
田鍋 光平 優勝

中学卓球部

●平成19年度広島市中学校卓球選手権大会佐伯区大会  
日時:平成19年6月9日(土)  
成績:団体戦Aチーム 第3位 団体戦Bチーム 第3位  
※広島市大会へ出場  
個人戦 山本 祥士(2-4)・下宮 章寛(3-1)  
※ベスト16、広島市大会へ出場

中学陸上部

●平成19年度広島市中学校陸上競技選手権大会  
日時:平成19年6月9日(土)・10日(日)  
成績:2年生男子100m 第2位 11"92  
長谷川 貴大(2-4)

男子 走幅跳 第8位  
佐藤 太紀(3-5) 5m47  
男子 4×100m 第4位 47"31  
烏谷 優太(3-1)・長谷川 貴大・小林 保晴(3-3)・佐藤 太紀  
女子 4×100m 第8位 55"45  
武田 彩希(2-1)・館野 明日香(3-2)・西山 瑞歩(2-4)・日浦 爽子(3-3)  
※広島県大会への出場権獲得

高校放送部

●第48回高校放送コンテスト広島県大会(第54回NHK杯全国高校放送コンテスト広島県大会)  
日時:平成19年6月24日(日)  
成績:アナウンス部門第3位、大会会長賞受賞  
義川 彩(III-2)  
※7月23日(月)~26日(木)に開かれる第54回NHK杯全国高校放送コンテストに広島県代表として出場